

# 寄付の新たな取組について

令和元年5月 財政課

## 個人・企業からの寄付の種類

	ふるさと納税	クラウドファンディング	寄付 ※ふるさと納税・クラウドファンディング以外のもの
対象	個人(主に市外在住の方)	個人(企業)	個人・企業
特徴	寄付額に応じて、多くの自治体で返礼品を提供。寄付者は寄付金の活用先を指定することができる。	プロジェクトに対して寄付者が寄付を行う。寄付額に応じて、物品やサービスを提供する場合もある。	市政や公共のために、寄付者が金銭や物品を無償で寄付を行う。 いただいた寄付は、金銭の場合、寄付者の意向に沿った事業に充当する。また、遺言によって、寄付を行う事例もある。

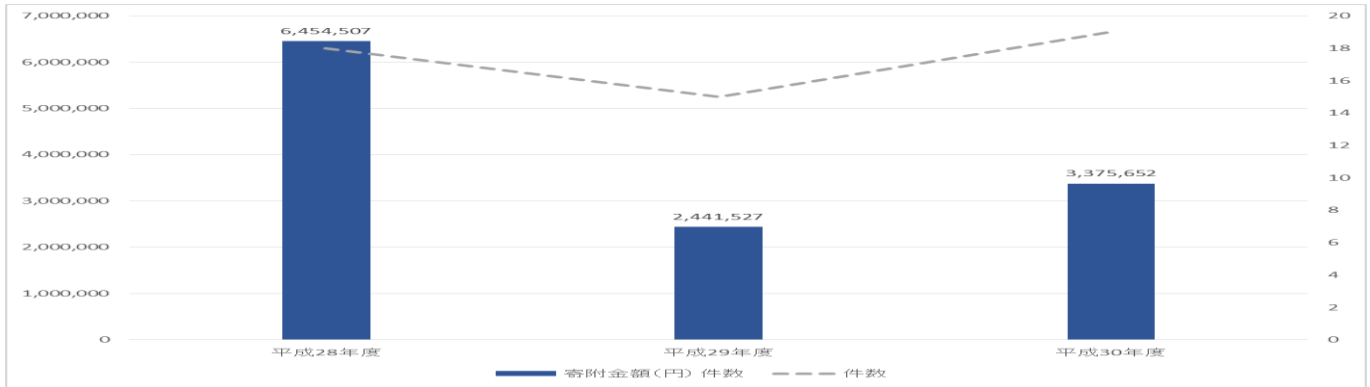
**今回は、ここに着目！**

現在、桑名市では、企業および個人の方から随時、寄付の受入れをしています。

## 寄付金の受納状況（平成27年～30年度実績） ※ふるさと納税・クラウドファンディング除く

寄付の目的	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	受入件数	寄付金額	受入件数	寄付金額	受入件数	寄付金額
社会福祉(障害・母子等)のため	13件	1,284,507円	9件	1,731,527円	8件	1,625,652円
子どもの教育のため	1件	100,000円	4件	600,000円		
博物館のため	1件	5,000,000円				
まちづくりのため	2件	20,000円	2件	110,000円	1件	100,000円
ブランド推進のため	1件	50,000円				
地域鉄道のため (所管課による取り組み)					10件	1,650,000円
合計	18件	6,454,507円	15件	2,441,527円	19件	3,375,652円

寄付受入れの近年の推移 【金額、件数】 ※ふるさと納税・クラウドファンディング除く



	平成28年度	平成29年度	平成30年度
金額	6,454,507円	2,441,527円	3,375,652円
件数	18件	15件	19件

寄付の受け入れの際の課題 . . . . .

課 題
①：寄付のPR不足をはじめ、寄付を募りたい事業が明確ではない。 (寄付者が使途(目的)を選択しづらい)
②：決算時に充当しているため、多額の寄付金が集まっても、 <u>事業の充実が難しい状況。</u>
③：少子高齢化社会をはじめ、生涯未婚者や単身世帯の増加といった社会背景を踏まえた、 <u>寄付の取組み・ニーズの対応ができていない。</u>

寄付の受入れの見直しに向けて . . . . .

これまでの寄付制度は維持しつつ、課題である「PR不足」「寄付者に寄り添う事業への展開」等を改善するため、新たな寄付の取組として、次の3点に取り組みます!



<今回の取組>

① 寄付金の使途(目的)をメニュー化し、寄付者が選択しやすい環境をつくるなど、 <b>寄付の「見える化」、明確化を図ります【財政課】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付の受入をメニュー化することにより、寄付PRを推進します。</li> <li>※ 部長会報告後、各課に依頼し、HPをはじめ窓口などでPRの実施</li> <li>企業等の社会貢献活動の一環や、市を応援していただく機会として検討していただきます。</li> </ul>
② <b>遺言による寄付(遺贈)の受け入れ態勢を構築します【財政課】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>遺言により自らの意志で寄付先を指定する方の増加が見込まれることから、新たに遺贈寄付の受け入れ態勢を構築します。(民間団体等との協定も視野に入れる)</li> </ul>
③ <b>各所管課の創意工夫・アイデアにより寄付を集めることができた場合、「がんばり「見える化」予算」により、インセンティブとなる予算化を実現します【各所管課】</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>寄付金増額に向けて各所管課からの提案をお待ちしております。また、随時、財政課にて相談を承ります。</li> </ul>